

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年2月28日

関東運輸局

評価対象事業名: 地域間幹線系統確保維持費国庫補助金

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における | 備考 |
|---------------------------|---|--|--|---|---|--|---|----|
| | | | | | | | 二次評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 上信電鉄株式会社 中央前橋駅～高崎駅 | 中央前橋駅～京目～高崎駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 ICカード導入や感染防止対策を計画して、国や県の補助金申請をして内示を頂き、実行する準備をしている。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標): 54,798人 | 令和3年10月1日から系統を前橋駅～高崎駅に統合する。 | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・ICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | |
| | | | | | C 輸送人員(実績): 47,823人 | | | |
| | | | | | コロナ禍により乗客が減少したため目標値を下回った。 | | | |
| | 上信電鉄株式会社 前橋駅～高崎駅 | 前橋駅～京目～高崎駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎駅バス案内所、前橋駅バス案内所に時刻表を配布し利用促進を促した。 ICカード導入や感染防止対策を計画して、国や県の補助金申請をして内示を頂き、実行する準備をしている。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標): 46,840人 | 各バス案内所を活用し沿線住民に時刻表の配布を行う。また病院などの施設にも設置するように努める。 国や県の補助金を利用してバス車内抗菌処理や交通系ICカードを導入してコロナ禍における感染防止対策を継続して行う。また、IC乗降データを活用してダイヤ改正等利便性を高めるように努める。 | | |
| C 輸送人員(実績): 41,070人 | | | | | | | | |
| コロナ禍により乗客が減少したため目標値を下回った。 | | | | | | | | |
| 関越交通株式会社 高崎駅～渋川駅 | 高崎駅～イオンモール高崎前・群馬温泉～渋川駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | ・R2年12月、高崎市、渋川市、吉岡町に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・R2年10月ダイヤ改正し、商業施設等を経由する系統を増回 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標): 184,997人 | ・高崎市、渋川市、吉岡町の沿線住民に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・様々な利用促進を図っていることについては評価できる。 ・アフターコロナ・ウィズコロナ等における利用状況等の検証を行うとともに、利用者を起点とした効果的な利用促進策を実施することが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | | |
| | | | | C 輸送人員(実績): 167,404人 | | | | |
| | | | | 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | | | | |
| 関越交通株式会社 高崎駅～群馬温泉 | 高崎駅～イオンモール高崎前～群馬温泉の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | ・R2年12月、高崎市、渋川市、吉岡町に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・R2年10月ダイヤ改正し、商業施設等を経由する系統を増回 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標): 92,441人 | ・高崎市、渋川市、吉岡町の沿線住民に時刻表を配布 ・高崎駅～渋川駅区間回数券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | | | |
| | | | | C 輸送人員(実績): 87,981人 | | | | |
| | | | | 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | | | | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------|------------------------------|--|---|-----------|------------------|---|--|----|
| | | | | | | | 評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 関越交通株式会社 けやきウォーク前橋～富士見温泉 | けやきウォーク前橋～前橋駅・中央前橋駅～富士見温泉の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢に時刻表を配布 ・JR時刻改正の影響はなかった ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 94,338人 輸送人員(実績): 82,157人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・前橋市北代田町・上細井町・下細井町・富士見町時沢・富士見町小暮・富士見町皆沢に時刻表を配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・金額式IC定期券の導入 ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | |
| | 関越交通株式会社 沼田駅～群大病院 | 沼田駅～関越自動車道～群大病院の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に沼田市、利根郡みなかみ町、片品村に時刻表配布 ・R3年4月に沼田市内の自動車教習所および群大病院内売店へ時刻表配布 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 15,736人 輸送人員(実績): 12,127人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・沼田市、利根郡みなかみ町、片品村、沼田市内の自動車教習所および群大病院内売店へ時刻表配布 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | |
| | 関越交通株式会社 沼田市保健福祉センター前～猿ヶ京 | 沼田保健福祉センター前～沼田駅・後閑駅・上毛高原駅・たぐみの里～猿ヶ京の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に沼田市、利根郡みなかみ町に時刻表配布 ・JR時刻改正の影響はなかった ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 83,486人 輸送人員(実績): 56,210人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・沼田市、利根郡みなかみ町、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | |
| | 関越交通株式会社 沼田駅～尾瀬戸倉 | 沼田駅～老神温泉・鎌田～尾瀬戸倉の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に沼田市、片品村に時刻表配布 ・JR時刻改正の影響はなかった ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 76,016人 輸送人員(実績): 60,112人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・沼田市、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | |
| | 関越交通株式会社 沼田駅～鎌田 | 沼田駅～鎌田の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・R3年3月に沼田市、片品村に時刻表配布 ・JR時刻改正の影響はなかった ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | A | 計画通り事業は適切に実施された。 | <ul style="list-style-type: none"> 輸送人員(目標): 50,708人 輸送人員(実績): 29,630人 新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛等の影響で減少し、目標は未達となった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・沼田市、片品村の沿線住民に時刻表配布 ・JR時刻改正の際に、接続確認の上、ダイヤ改正の実施 ・客貨混載事業の継続 ・企画乗車券販売 ・ICカード精算の利用促進(PR実施) ・ICカード利用データ活用の検討 ・新型コロナウイルス感染症予防対策PR実施 | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における二次評価結果 | 備考 |
|--------------|----------------------|-----------------------------------|---|--|---|--|---|----|
| | | | | | | | 評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 株式会社群馬バス 高崎～室田 | 高崎駅～里見～室田営業所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設や沿線高校等に時刻表を設置し、利用促進を図った。利用者アンケートは新型コロナウイルスの変異株の影響により実施は見送った。また、ICカード導入に向けて準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):103,706人 輸送人員(実績):80,078人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により目標に達しなかった。 | 変異株が進行中であるが利用状況を把握し利用しやすい環境を整え、適切な運行を行う。R4年3月からIC機器を導入するため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・関係市町村と連携し、生産性向上の取組を実施しており評価できる。 ・ICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | |
| | 株式会社群馬バス 高崎～榛名湖 | 高崎駅～本郷～榛名湖の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布をおこなうとともに、各自治体の公共施設や高崎経済大学等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、JRの協力の得てフリーパスを販売し利用者の利便性を図った。また期間限定で行ったMaaSは緊急事態宣言と重なったため利用はわずかであった。また、ICカード導入に向けて準備を実施。 | A 冬季は積雪による路面凍結のため運行できない区間があったが、事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):111,464人 輸送人員(実績):91,229人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により、目標に達しなかったが、前年度と比べては利用増になった。 | 引続き利用者の利便性の向上を図るべくフリーパスをアピールする。また、R4年3月からIC機器を導入するため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 | | |
| | 株式会社群馬バス 高崎～榛東村役場 | 高崎駅～上郊～榛東村役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市・榛東村住民に時刻表の配布を行うとともに、各自治体の公共施設等に時刻表を設置し、利用促進を図った。また、R2.4.24からの増回が功を奏し沿線施設である相馬原自衛隊の隊員の利用が増加した。また、ICカード導入に向けて準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):33,833人 輸送人員(実績):33,212人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により、目標に達しなかったが、前年度と比べては利用増になった。 | 引続き、沿線住民は勿論のこと、増回理由になった相馬原自衛隊の若い隊員向けに引続き時刻表を定期的に配布する。増回により隊員の利用も増えた。R4年3月からIC機器を導入するため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。 | | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における二次評価結果 | | 備考 |
|--------------|-----------------------|------------------------------------|--|--------------------|---|---|--|--|----|
| | | | | | | | 評価結果 | | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 株式会社群馬バス 高崎～伊香保 | 高崎駅～水沢～伊香保案内所の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 高崎市住民に時刻表の配布をおこない利用促進を図った。また、引続き榛名湖～伊香保温泉線、伊香保温泉～高崎線へ接続、JRの協力の得てフリーパスを販売し利用客の利便性を図った。また期間限定で行ったMaaSは緊急事態宣言と重なったため利用はわずかであった。また、ICカード導入に向けて準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):53,974人 輸送人員(実績):44,687人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により、目標に達しなかったが、前年度と比べては利用増になった。 | また、高崎駅から伊香保間を乗換無しで行けることも引続きアピールしていきたい。引続き利用客の利便性の向上を図るべくフリーパスをアピールする。また、R4年3月からIC機器を導入するため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので特にアピールを行う。 | | | |
| | 株式会社群馬バス 高崎～南陽台 | 高崎駅～農大二高・吉井物産センター～南陽台の運行 | 南陽台から旧吉井町へ運行する自家用有償(よしいバス)と乗り継ぎ割引を引続き実施し、利便性の確保を行っている。また、高崎市からの強い要請により、R元.10.1に増回ダイヤ改正を行った同時にデーertimeはパターンダイヤに設定し、沿線住民の利便性を図った。この結果、2つの高齢化している住宅団地の住民の買い物の足として重要な役割を果たしている。また、ノンステップバス導入により高齢者にとっても乗車しやすい環境が整った。また、ICカード導入に向けて準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):70,255人 輸送人員(実績):51,266人 輸送人員は新型コロナウイルス変異株の影響により、目標に達しなかったが、前年度とほぼ同一の利用者数になった。 | 南陽台・城山団地という70～80年代頃に開発された丘陵地帯地上にある住宅団地と高崎市街地を結んでいる。高齢者の買い物の足としての役割が強く、また沿線には東京農大二高があり、雨の日は生徒の足と多様な役割を担っている。引続き高崎市と協力してアピールしていきたい。R4年3月からIC機器を導入するため、利便性の向上のアピールを強化し利用増を狙う。特にバスと鉄道を利用する方には便利なので併せてアピールを行う。 | | | |
| | 群馬中央バス株式会社 前橋駅～高崎駅 | 前橋駅～芝塚～高崎駅の運行 | ・従来からの感染症対策に加え、国及び県の補助金交付申請を活用して、バス車両に抗菌・抗ウイルスのための設備の導入を計画中。 ・自社オープンデータの整備(路線情報・位置情報を整理・改善し発信した) ・バスロケーションシステムを導入し、ホームページ等により利用者に発信することで利便性の強化を図った。 ・Suica地域連携ICカード導入に向けた準備を実施中。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | C 輸送人員(目標):106,901人 輸送人員(実績):92,134人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できなかった。要因としてはコロナウイルスの影響によるもので、企業の在宅勤務やその他一般の方が、バスに乗車しての外出自粛を危惧されたことが大きい。 | ・コロナウイルス感染症防止対策を継続しつつ、更に進んだ安全対策を取り入れ、バスの安全性のPRしていく。 ・自社のオープンデータを更に整備しPRを行うことで、分かりやすい路線情報の提供を行う。 ・ICカードの導入に対し、利用者に向けた「ICカード利用案内」を作成し、利便性の向上に関するPRを行う。 | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・バスロケーションシステムやICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------|--------------------------|-------------------------------------|---|-----------------------|--|--|---|----|
| | | | | | | | 評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 群馬中央バス株式会社 高崎駅～県立女子大学 | 高崎駅～上滝・玉村～ 県立女子大学の運行 | <ul style="list-style-type: none"> ・従来からの感染症対策に加え、国及び県の補助金交付申請を活用して、バス車両に抗菌・抗ウイルスのための設備の導入を計画。 ・自社オープンデータの整備(路線情報・位置情報を整理・改善し発信)。 ・県立女子大学と授業・学校行事等に合わせたバスの運行についての協議を行い、利便性の向上に努めた。 ・Suica地域連携ICカード導入に向けた準備を実施中。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標):45,813人 C 輸送人員(実績):32,363人 輸送人員は上記の通りであり、目標を達成できなかった。要因としてはコロナウイルスの影響によるもので、企業の在宅勤務や学校のリモート授業が継続して行われていることが大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症防止対策を継続しつつ、更に進んだ安全対策を取り入れ、バスの安全性をPRしていく。 ・自社のオープンデータを更に整備しPRを行うことで、分かりやすい路線情報の提供を行う。 ・ICカードの導入に対し、利用者に向けた「ICカード利用案内」を作成し、の利便性を向上に関するPRを行う。 ・県立女子大学及び沿線の高校等と連携を図り、利便性の向上に努めていく。 | | |
| | 永井運輸株式会社 前橋公園～玉村町役場 | 前橋公園～前橋駅～玉村町役場の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 下川淵公民館及びベイシアみなみモールへ配布時刻表を各300枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 引き続き「前橋工科大21回数券」を作成し発売を行った。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの実施。 旅客への情報提供として前橋工科大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置。 群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を上陽小学校で実施した。バスに馴染んでいたいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症対策を実施。車内への仕切り取り付けや車内消毒、換気等の実施。 Twitterでの運行情報送信を継続実施。 ICカード導入に向けての準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標):45,000人 A 輸送人員(実績):51,216人 輸送人員は上記の通りであり目標を達成したが、令和2年度感染症禍で減少した利用実態を踏まえた目標設定によるものである。 | 駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた努力を行う。 引き続き、「前橋工科大21回数券」を作成し、大学生のバス利用が減少する時期の利用促進を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やTwitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいたいただける機会づくりに積極的に取り組む。 引き続き感染症対策を実施。国補助金での車内の抗菌コート加工や車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 ICカード導入に向けて準備を進めて行く。 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況については、目標を達成しており評価できる。結果の要因を分析し、需要動向や事業の実施状況の把握に努めること。 ・バスロケーションシステムやICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における 二次評価結果 | 備考 |
|--------------|--------------------------|---------------------------------------|--|-----------------------|---|---|--|----|
| | | | | | | | 評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 永井運輸株式会社 玉村町役場～新町駅 | 玉村町役場～県立女子大学～新町駅の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 列車接続に対応していたダイヤであったため、ダイヤ調整は実施しなかった。 玉村町役場へ配布時刻表を300枚用意し、ご入用のお客様へ配布をお願いした。 GTFSデータの作成及び提供を継続。 バスロケーションシステムの実施。 旅客への情報提供として群馬県立女子大学に「発車案内デジタルサイネージ」を設置。 群馬県バス協会主催の「バスの乗り方教室」を上陽小学校で実施した。バスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組んだ。 新型コロナウイルス感染症対策を実施。車内への仕切板取り付けや車内消毒、換気等の実施。 Twitterでの運行情報送信を継続実施。 ICカード導入に向けての準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標):30,000人 輸送人員(実績):30,963人 輸送人員は上記の通りであり目標を達成したが、令和2年度感染症禍で減少した利用実態を踏まえた目標設定によるものである。 | 駅での鉄道接続を円滑にするため、必要に応じダイヤ調整を行う。 沿線の公民館や商業施設に時刻表を置かせてもらえるようお願いし、利用促進に向けた一層の努力を行う。 GTFSデータ提供を継続し、データ鮮度の維持をはかる。 バスロケーションシステムの実施やTwitterなどでの運行情報送信など、旅客への高度な情報提供を継続。 依頼に応じて「バスの乗り方教室」やバス業界への興味関心を惹きつけるための啓発など、子供だけでなく大人や高齢者の方についてもバスに馴染んでいただける機会づくりに積極的に取り組む。 引き続き感染症対策を実施。国補助金での車内の抗菌コート加工や車内消毒、換気等の実施を継続し、安心安全に利用できるよう取り組む。 ICカード導入に向けて準備を進めて行く。 | | |
| | 日本中央バス株式会社 前橋駅～富士見公民館 | 前橋駅～田島十字路～富士見公民館の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 路線開設当初より、富士見温泉・富士見公民館への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 感染症対策の周知について弊社ホームページやバス車内で行いお客様へ安全安心である旨のPRを行った。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 ICカード導入に向けての準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標):57,337人 輸送人員(実績):41,963人 新型コロナウイルス蔓延の長期化による、主に日中利用が主の高齢者などの買い物等による利用回数的大幅な減少、また、テレワークの利用等により利用者が大幅に減少した。 | コロナ禍による外出需要の減少が続いているので、引き続き路線バスの感染対策(オゾン散布装置、換気等)の周知を図ってゆく。また、新たな取り組みとして車内光触媒抗菌コートを令和3年12月から行う。 令和4年春にICカードの導入等を図りコロナ禍における接触機会の低減を図り、更にはICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 減少した日中利用者の回復に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市と共に検討を行い、実行可能なものから実行する。 | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・バスロケーションシステムやICカードの利用状況などから得られたデータを活用し利用者の流動実態を把握した上で、運行計画改善の検討を進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | |

| 協議会名 | ①補助対象事業者等 | ②事業概要 | ③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況 | ④事業実施の適切性 | ⑤目標・効果達成状況 | ⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む) | 地方運輸局等における二次評価結果 | 備考 |
|--------------|---------------------------|---|---|---|---|---|---|----|
| | | | | | | | 評価結果 | |
| 群馬県生活交通対策協議会 | 日本中央バス株式会社 前橋駅～八幡橋 | 前橋駅～前橋西高校～八幡橋の運行 車両減価償却費等国庫補助適用 | 路線開設当初よりしんとう温泉・榛東村役場への時刻表の設置、時刻表への「自転車積載可能」を表示し、周知を図っており、随時補充をしている。 感染症対策の周知について弊社ホームページやバス車内で行いお客様へ安全安心である旨のPRを行った。 バスロケ情報をオープンデータ化し、Googleマップへのリアルタイム遅延情報の掲載によりお客様の利便性向上を図っている。 ICカード導入に向けての準備を実施。 | A 計画通り事業は適切に実施された。 | 輸送人員(目標):61,716人 輸送人員(実績):49,338人 | コロナ禍による外出需要の減少が続いているので、引き続き路線バスの感染対策(オゾン散布装置、換気等)の周知を図ってゆく。また、新たな取り組みとして車内光触媒抗菌コートを令和3年12月から行う。 令和4年春にICカードの導入等を図りコロナ禍における接触機会の低減を図り、更にはICカードのODデータの活用により、路線動向の分析を図る。 前橋都心部において、独占禁止法上の例外措置による共同経営について市内6事業者で合意に至ったので、令和4年春の本格実施に向け周知を図ってゆく。 減少した日中利用者の回復に向けた方策並びに安心してご利用頂ける方策について前橋市・榛東村と検討を行い、実行可能なものから実行する。 | | |
| | 朝日自動車株式会社 本庄駅南口～神泉総合支所 | [起点] 本庄駅南口 [主な経由地] 小島南・沖電気前 [終点] 神泉総合支所 | ①令和2年9月～10月と令和3年3月～4月の共通学生フリーバス販売時期に合わせ沿線学校や、自社ホームページ及びバス車内で周知し、販売促進を図った。 ②沿線施設との企画乗車券導入に向けての協議は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し見送った。 ③高齢者定期券導入については継続して検討中。 | B 新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の事業が計画に位置づけられず実施することができなかった。 | 輸送人員目標139,565人に対して実績は134,389人となり目標未達成となった。 未達成理由として、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症の影響による利用者減少が理由と考えられる。 | ・引き続き共通学生フリーバスの販売促進を図る。 ・沿線施設との企画乗車券を導入し観光需要を取込む。 ・高齢者定期券を検討し高齢者のバス利用へ繋げる。 ・引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施し安心して利用できるバス車内の環境保持に努める。 | ・事業が計画に位置づけられたとおり、適切に実施されている。 ・目標・効果達成状況の未達成の要因として、新型コロナウイルス感染症の影響であることが確認できる。 ・「企画乗車券」及び「高齢者定期券」の導入の検討にあたっては、利用者の動向やニーズ等の把握に努めた上で、進めていくことが望ましい。 ・広域な交通ネットワークの構築には、都県との連携が非常に重要であることから、市町村とも連携を図ったうえで、アフターコロナ・ウィズコロナにおける人流の変化をとらえ、データを分析し、円滑な移動を図る取組の実績を積み重ね、自家用車から鉄道やバスなどへと変化していくなどの議論がなされることを期待する。 | |

第三者委員会における各委員からの意見

令和3年度地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会における委員による以下の助言は、今後の取組を行う上で必要な観点であり、考慮されたい。
 ○交通が都市の中で重要な役割を担っているが、公共交通だけではなく自転車や徒歩などを含め全体を体系化し、色々な組み合わせをしながらチャレンジすることが重要。
 ○県や市町村それぞれの役割を考え、オリジナリティを出すことにこだわらず、他の良い事例を学び、まちの事情に合わせ取り入れていくことが重要。